

第 16 号

平成12年
4月25日

題 字
植 木 満 会 長

東 進

発 行 所

土浦一高東進会

(茨城県立土浦一高)
進 修 同 窓 会
東 京 支 部

事務局 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-2-10 サニープラザ新宿御苑1102
大野金一法律事務所内 TEL 03-3357-4311 FAX 03-3357-4312



旧正門

平成十二年度

東進会総会・懇親会

時 平成十二年六月三日(土)

十二時〜十六時

於 神田学士会館

(地下鉄「神保町」駅前)

今総会・懇親会の当番幹事(昭41年卒)は、一高在学当時の恩師をご招待するそうです。

恩師は、富田昇先生、横田先生、稲見先生、川村安宏先生、鶴巻勝夫先生、清水健三先生、小田高光先生、池井芳寛先生、長壁英進先生、久保隆司先生、大曾根宏亮先生、友部発夫先生方です。

なお、旧制中学四十五回(昭20年卒)では、和田隆先生(青山学院大学名誉教授)をご招待するそうです。懐しい恩師に会える絶好の機会かと思えます。是非出席下さい。

【イベント】

海老原順夫妻とジャズバンド「吉本泰一郎とスウィング・スターズ」(三〇〜四〇年間ジャズ一筋の面々、都内のライブハウス「マ・ヴィ」「ロズルーム」他、東京デイズニールンド各種イベントで活躍中)

謳粋会の記

●第十五回霜月(十一月)の会

平成十一年十一月十二日

銀座「イタリー亭」出席者八名

イタリア料理を味わう会で、業界の老舗「イタリー亭」(創業昭和二十七年)にご案内しました。イタリア料理店としては、戦後の復興期を過ぎて間もなく出来た店で、古めかしさはあるが、オーソドックスな家庭料理で、最近の乱立しているイタメシ屋のごとき華やかさはないが、ドッシリとした趣で、落ち着いて酒肴を味わえる店だった。



【料理】

今回の料理は、お店の通常のコース料理で特別に注文した料理は無く、冷製、温製の前菜から最後のステーキまで、実に九品目のメニューには、パスタ料理も、ロングスパゲッティ、ショートスパゲッティからラザニアと進み、新鮮な菌触りのイタリアンサラダの美味しさに更にワインが進む。そしておきまりのピッツアとなり、その香ばしさに生地の良い感じが感じられ、どの料理もオリーブ油の上手な使い方が、その持ち味を一層美味しく盛り上げているように思われました。

支配人の金子さんが「今日はしっかりサービスさせていただきますよ。普段の時より量を多くしてありますので、もしかすると食べ切れないかも知れません」ということでしたが、全部きれいに戴きました。

【飲物】

今宵の飲物は、すべてイタリアワインで済ませました。最初に、一寸酸味の効いたの、少し甘いもの、フルーティーなもの三本の白ワインを頼みました。

次に、同じように三本の赤ワインを飲んで、最後の仕上げは、イタリアを代表する苞に入ったワイン「キヤンテイ」にしましたが、いずれも軽いタッチのように思われました。

●第十六回 師走の会

平成十一年十二月十八日

出席 十七名

安田信託銀行「市ヶ谷ハウス」

ここは、安田信託銀行がくつろぎの迎賓館として創られた処だそうぞ、四季折々の風情が楽しめる都会のオアシスと称して居ります。



この会場の割安なコース「わいわい料理」(飲み放題)は、二〇名以上出なければということでした。昨年の忘年会は三〇名ほど参加したので、ここに決めたのですが、時間の設定が昼過ぎということだったせいか十七名でした。それでも特別の計らいでわいわい料理を楽しむことができました。

【料理】

前菜(各人毎)、刺身盛り合わせ(大皿)、わいわい鍋料理(各人毎) 鱈・蟹・海老・煮帆立・豆腐・白菜・椎茸・エノキタケ・水菜・巻湯葉・マロニー

食事・止め碗・果物

【飲物】

ハウスの出した「白鶴」のほかに、安井さん提供の新庄最上川酒造の原酒「とろり」と露木さん提供の、地元静岡でもなかなか手に入らない「磯自慢」特選を楽しみました。

●第十七回 新年の会

平成十二年一月十四日

大塚「玉淀」 出席十七名



今回は新年の会ということもあって、「玉流」さんの気の入れようの尋常でないことが、お膳の上の一つ一つの料理からうかがい知ることができました。

毎回特別の価格で提供して戴いて、本当に恐縮しております。

(前菜) 数の子西京漬、鯛昆布締め、あいがもスパイス焼き、鳥親子煮

(お造り) 鮪・平目花造り

(焼物) 伊勢海老雲丹焼

(蒸物) 鯛兜蒸し

(煮物) 加茂茄子田楽

(吸い物) 海老しんじょうの吸い物

(酔の物) 生牡蛎

茶そば 海老てんぷら

【お酒】

特別純米「一人娘」

特別純米「土佐鶴」(砂川氏提供)

桜花吟醸酒「出羽桜」

にごり酒

純米「白川郷」

「戸塚路」(山田氏提供)

二〇〇〇年元旦しほり「白龍」

泡盛「久米仙」(玉流提供)

●第十八回

平成十二年二月十八日

新宿「かこみ」出席一〇名

まるで冷蔵庫の中に閉じこめられたような寒さ。寒いときは何と言っ



ても火のご馳走が一番。そこで今回は、炭火を囲んで山海の肴を焼きながら味わうというところ、新宿の靖国通りに面した「かこみ」へ案内しました。

博多の鶏の水炊き「玄海」が東京へ進出して四〇年になります。が、「かこみ」はその経営で、東京へ作って三年ぐらいらしい。

料理は、前菜、盛り合わせ、お造りと出て、その次にスープが出てきました。「玄海」ではこのスープが看板なので「何杯でもお代わりをどうぞ」と言ってくれるのですが、ここでは湯呑み一杯だけのオシキセで寂しい思いをしました。

お酒は、各自のご指名で、メ張鶴、高千穂、天狗舞、香露、雪中梅、八

海山、三千盛が出されましたが、持ち込んだのは、福井・勝山の、一本義が醸す門外不出の本醸造で地元でも「伝心会」会員でなければ購入できない「伝心」と、秋田の「刈穂」でした。

東進会役員会・学年幹事会議事録

▼平成十二年二月二十二日

出席者 植木満(8)、篠田康(20)、山口進(20)、渡辺光夫(20)、坪井洋(27)、大野金一(31)、田村恒(31)、片岡宏之(32)、沼里征二(33)、土金雅晴(36)、矢口照雄(37)、片桐敬子(40)、長戸琴(41)、久松信明(41)、安井恵子(41)、幕内邦夫(43)、岡崎孝宣(44)、猪俣勝広(44) 敬称略

決議事項

- 総会・懇親会への参加者を多くするよう、各々声をかける。
- 学年で恩師を招待しても良い。
- インターネットホームページを作る。

▼平成十二年四月七日

出席者 篠田康(20)、山口進(20)、渡辺

光夫(20)、山藤和夫(23)、坪井洋(27)、芳尾敬一(28)、大野金一(31)、酒井隆三(31)、田村恒(31)、中村信秀(31)、片岡宏之(32)、土方登志子(32)、湯原勝明(33)、土金雅晴(36)、長戸琴(41)、久松信明(41)、安井恵子(41)、幕内邦夫(43) 敬称略

決議事項

- 平成十一年度決算
- 平成十二年度予算の承認
- 学年幹事会の予算を予備費から独立させ、二十五万円にする。
- 慶弔の規程を来年度作る。
- 常任顧問の黒田常氏(昭28年卒)を顧問に、篠田康氏(昭20年卒)を常任顧問に、中島豊治氏(昭35年卒)の退任につき理事幕内邦夫氏(昭43年卒)を副理事長にお願いする。
- 今総会は十二時受付開始で一時から三時を目安とする。
- 出席者は郵便振込で行っているが、各学年毎に別に葉書を出しても良い。
- 学年で一人で出席した人の面倒を見るようにする。





平成十二年度 大学入試合格状況

平成十二年度の入試では、東大三十一名、筑波大四十九名が合格した。特に東大は公立高校中、一位、筑波大合格者は全国一位を維持した模様である。

また、筑波大医学専門学群の七名

主要大学合格状況の過去年度比較

入試年度 大 学	平成10年度		平成11年度		平成12年度	
	合格者	新 卒	合格者	新 卒	合格者	新 卒
北海道大	13	9	5	1	4	2
東北大	16	10	12	7	22	15
茨城大	4	3	2	1	4	4
筑波大	65	52	56	43	49	42
千葉大	9	7	13	8	2	1
お茶の水大	9	8	7	4	7	7
東京大	27	19	30	21	31	20
東京外語大	6	5	5	3	4	3
東工大	10	4	11	5	17	13
一橋大	7	2	7	3	4	3
横浜国大	9	5	11	6	5	3
名古屋大	2	1	1	0	2	2
京都大	6	3	7	4	4	1
その他	29	17	20	8	14	3
国立大学計	212	145	189	114	169	119

青山学院大	26	17	31	13	16	13
学習院大	25	6	23	12	16	10
慶應大	51	27	70	40	65	37
国際基督大	6	5	7	5	4	4
上智大	32	18	21	9	35	17
中央大	29	10	24	10	27	13
津田塾大	9	9	6	5	3	2
東京女子大	15	9	10	7	6	5
東京理科大	94	47	94	36	100	49
日本女子大	20	14	15	12	14	10
明治大	49	22	36	17	47	23
立教大	17	9	26	15	31	19
早稲田大	79	42	86	47	77	43
私立大計	651	301	640	281	585	309
公立大学計	14	7	5	3	3	1

大学校計	5	1	8	2	5	4
その他計	1	1	1	1	4	3

総 計	883	455	844	401	766	436
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

(平成12年 3月29日現在)

をはじめ、医学部合格者が増えたことも特筆すべき快挙である。東工大の十七名合格もすばらしいし、東北大も二十二名と数を増やした。その一方、新卒者の国立大学合格者は、一一九名と前年度を僅かに上回るに

とどまった。本校生の多くが難関大・難関学部を志望する傾向はさらに強まっていると言え、一層の実力養成が急務である。

私立大では、早稲田・慶応が健闘し、上智・東京理科などが数を増やしている点が成果としてあげられよう。なお、別表の数字中、平成十二年度については三月二十八日までに判明した数字である。

編集後記

■六月三日の総会には、二〇〇名の出席を予定しておりますので、多くの皆様に出席していただくのと同時に、まだ出席をしていない方々にも声を掛けていただきまして、予定の数を上回るようにしたいものです。

■編集委員会では、委員の募集をしております。希望者は事務局までお知らせ下さい。

■「謳粋会の記」は、謳粋会の篠田進会長が毎回健筆をふるって下さっています。会長は、毎回の場所の選択、料理の指定、銘酒の選定から買い出しまで、自らやっていたいただいた上に、当日は写真撮影、終ったあとは、数日のうちに「謳粋会の記」をまとめて、出席者全員に写真を添えて送ってくださいます。本誌に掲載させていただいているのは、そのほんの一部の抜粋と写真の一部です。

